

# STEM「建築におけるデジタル技術活用の事例研究ワーキンググループ」の提案で 建築研究開発コンソーシアム主催「テクニカルフォーラム」を開催

## ～ 建設DXのビジネス上の課題と建設市場への期待 ～

■概要： 建設業の生産性を向上させるためには、新技術への投資に加えて、現代の働き方にあったものに更新する必要がある。  
このような人文社会学における領域と連携をしながら、**建設業の生産性の向上**に必要なことに関して議論を行う。

■日時： 2024年8月23日（金）14：00～18：00

■プログラム： ◎講演

- ・建設業界の現状の振り返り・魅力の確認  
（石田航星氏〔早稲田大学 准教授〕）
- ・デジタル・トランスフォーメーション技術の展望  
（斎藤寛彰氏〔戸田建設〕）
- ・建設テック企業の創造に必要な条件  
（板谷敏正氏〔プロパティデータバンク会長〕）
- ・組織設計における技術開発の現状  
（四戸俊介氏〔日建設計〕）
- ・総合建設業における技術開発の現状  
（宮内尊彰氏〔大和ハウス工業〕）

◎意見交換会

■参加者： ゼネコン、ハウスメーカー、建設テック企業等 36名

CBRD CONSO PHOTO ニュース

タイトル：テクニカルフォーラム「建設DXのビジネス上の課題と建設市場への期待」が開催されました。

写真



内容

8月23日（金）36名の参加者で、テクニカルフォーラム「建設DXのビジネス上の課題と建設市場への期待」が開催されました。初めに、当会が連携・協力協定を締結している日本建築住宅センターが運営する科学技術エキスパート会議（STEM）幹事の汐川孝氏から、今回のテクニカルフォーラム開催の主旨についてお話があり、その後、下記5名の方に講演していただきました。

- ・施工者の建設DX 建設業の現状と技術開発の加地の振り返り 石田航星氏〔早稲田大学 准教授〕
  - ・建設業におけるデジタル・トランスフォーメーションの課題と建設DXに取組むスタートアップ企業 斎藤寛彰氏〔戸田建設〕
  - ・建設テック企業の創造に必要な条件 板谷敏正氏〔プロパティデータバンク 会長〕
  - ・組織設計における技術開発の現状 四戸俊介氏〔日建設計〕
  - ・建設DXの取組み 宮内尊彰氏〔大和ハウス工業〕
- 講演後は、講演者と参加された方の意見交換会があり、活発な意見交換が行われ、建設DXへの期待の大きさが伺われるテクニカルフォーラムとなりました。